業界・行政ニュース

第2四半期に発注

西尾市　今川細池2号線整備

【西尾】西尾市は、「今川細池2号線」整備を計画しており、第2四半期に発注する予定だ。

計画では、矢曽根今川南部1号線との交差点から北側に延長約300㍍、幅員約15㍍の道路を整備する。施工地は今川町地内。工期は約6カ月。設計は太栄コンサルタンツ（名古屋市中区）が担当した。

計画では残り延長約200㍍を整備して完了する予定。

基本設計などを実施

豊田市　梅坪台地区運動公園整備

【豊田】豊田市は、梅坪台地区運動公園整備事業を計画しており、2010年度に「用地測量や基本設計」などを実施する。10年度当初予算には事業費として約1029万円を盛り込んでいる。

計画では、高原町に面積2万平方㍍程度の運動広場を新設する。施設内容は野球場1面程度の多目的広場や便所、倉庫、駐車場などを整備する。

10年度に用地測量や基本設計を行い、11年度以降に用地取得などを行う予定で、13年12月の完成を予定している。

梅坪台が最終に

同事業は、旧豊田市内の各地区に生涯スポーツ活動の拠点施設となる運動広場を整備するもので、梅坪台地区が現状では最終となる予定。

開発許可など申請へ

豊川市　一宮大木地区工業用地造成

【豊川】豊川市は、一宮大木地区で進めている工業用地造成計画について、2010年度以降、順次事業主体選定、開発許可申請などの作業に着手する見通しだ。

09年度は、08年度にまとめられた環境影響調査を基に地元説明などの作業を進めており、早期に地元との合意まで完了させたい考え。

同事業の計画区域は、同市大木町小牧山と山ノ奥の一部、豊川新城線を挟み、北側約25㌶と南側15㌶を想定。

ボーリング調査は玉野総合コンサルタント（名古屋市東区）、環境調査はニック環境システム（同熱田区）が担当。

同地区は、東名豊川インターチェンジ付近に位置しアクセスもよく、愛知県企業庁も内陸部の工業用地として有望なだとらえている。

基本計画を策定へ

吉良町が計画

「塩田復元施設建設」

【幡豆郡】吉良町は、「塩田復元施設建設」を計画しており、2010年度に基本計画を策定する予定だ。

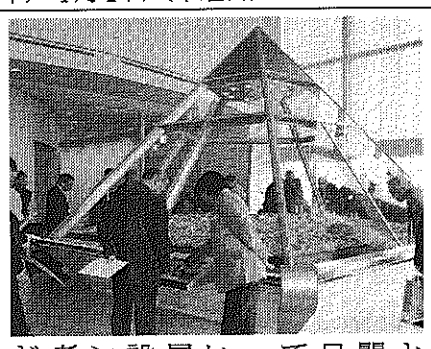
同事業は、入浜式を復元し、塩作りができる学習施設を整備する計画。町内の文化護委員会や塩づくり者らで構成する塩田整備検討委員会と設者により基本計画をする。

建設予定地は宮崎浜新田などの沿岸地予定している。着工は未定。

名古屋都市センター

式典と内覧会開催

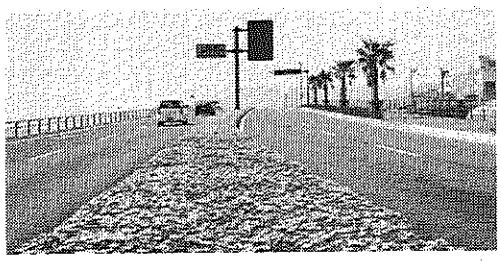
常設展示をリニューアル



名古屋都市センターはニューアルオープンしたため、リニューアル式典と関係者内覧会を開催した。3月30日から一般公開している。

式典の冒頭であいさつに立った松尾稔理事長は、常設展示は「都市センターの基本的な考え方や先見性などの活動の全容を見せるもの」だとし、来館者から「意見や批判をいただき、一緒に考えていくものにしていきたい」などと語った。

続いて来賓として山田雅雄名古屋市副市長があいさつに立ち、「名古屋のアイデンティティーはものづくり、近世武家文化、まちづくりの3点。センターはまちづくりの重要な役目を担っている」とし、「50、100年後を見据えたまちづくりにおいて、常設展示の意義がある。これからも名古屋のまちづくりに寄与してほしい」と述べた。

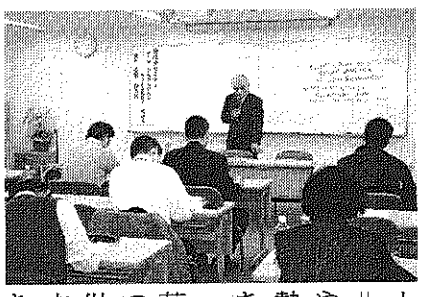


常設展示は、同センターが現在のビルへ移転してから10年がたち、設備が老朽化していることと、内容を更新するためにリニューアルした。来館者が名古屋のまちやまちづくりの歴史、特徴などを再発見し、まちづくりへの参加にも興味を持ってもらえることを目指した。

展示内容は、名古屋の都心を精巧に再現した1000分の1スケールの都市の模型＝写真＝などで、七つのゾーンを設けている。設計制作は電通名鉄コミュニケーションズと乃村工芸社（模型は森ビル）が担当した。

助成金・補助金をテーマにセミナー

伊藤建設工業



伊藤建設工業（名古屋市港区正保町6ノ24、伊藤貴志社長）は3月30日、「あなたの会社ももらえる助成金・補助金」をテーマにした助成金セミナー（無料）を開催した＝写真。講師の分かりやすい説明に参加者は熱心に聞き入っていた。

セミナーの冒頭、伊藤社長は、「当社が持つさまざまな情報を提供することで、お役に立てればと思い企画した。きょうのセミナーを皆さんの会社で有効にしてほしい」とあいさつした。

セミナーでは、「雇用調整助成金」に焦点を絞り、①受給できる事業主②受給できる要件③受給要件判定から受給までの流れ④助成金の算定方法⑤申請書類―などを解説した。講師は行政書士の資格を持つ同社総務部の服部和夫さんが担当した。伊藤社長は、「今後も経営革新などさまざまなテーマで開催していきたい」と述べた。

雑草繁殖防ぐガザニアン

シリーズを販売　くるみ会

社会福祉法人くるみ会（西尾市家武町深篠96）は雑草抑制効果の高い花苗「ガザニアンクイーン」と「ガザニアンプリンセス」＝写真＝の生産、販売を行っている。

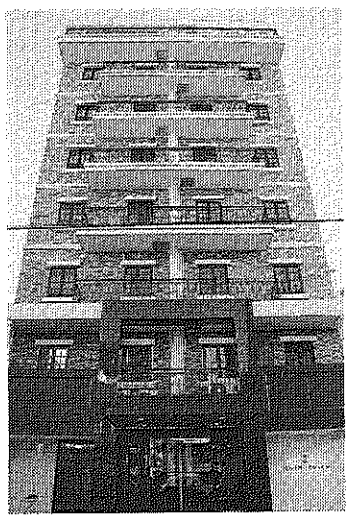
同商品はNETISに登録されており、年間を通して雑草の繁殖を防ぐ効果を持つほか、塩害、排ガス、乾燥に強く中央分離帯や港湾など沿岸地域にも植え付けることができるうえ、繁殖力が強く、1平方㍍当たり、約6・25鉢の植付けで済むためコストを低く抑えることができるとしている。同会では、公共事業向けに事業を拡大していく方針。

▽問い合わせ先―電話0563（52）2565　担当・森脇さんまで

きょうオープン

桐美建設

女性用フロアを備えたレンタルオフィスビル



桐美建設名古屋支店（名古屋市中区松原2ノ2ノ33）は、名古屋初の女性用フロアを備えたレンタルオフィスビル「deラ・ドーニー」（デラ・ドーニーとして利用できる屋ラ）を1日にオープンする。

同ビルのコンセプトは、「ベンチャー起業の発展につながるコミュニティーの構築」。バルコニーとして利用できる屋上スペースを備えるなど、入居者の交流をはぐくむ施設構成となっている。最大の特徴は、パウダールームやフィッティングルームを備えた4階の女性用フロア。さらに、セキュリティーカード制を導入し、24時間の入退室を可能にすると同時に高度なセキュリティーを実現している。

同ビルは8階建てで、2～7階にオフィス41室が入る。料金（賃料・共益費込み）は、4・67平方㍍、4万3500円～25・1平方㍍、11万8500円まで。所在地は名古屋市西区那古野2ノ23ノ21。

▽問い合わせ先―電話052(339)5411　a-do-ra」

10年度「基盤整備　重視を」

東海農政局が懇談会開く

農林水産省東海農政局は3月30日、2009年度第2回の「東海地域農政懇談会」を開き、10年度の東海農政局「行動重点8項目」案や「食料・農業・農村基本計画」などについて意見交換を行った。懇談会の委員からは「将来のためにもっと基盤整備を重視するべきではないか」などの意見が出され、東海農政局の竹森三治局長は「将来のために考える必要はある。どうするかはきちんと議論して示していく」と回答した。

各年度で特に重点的に取り組む項目を示す「行動重点8項目」は、より分かりやすい情報発信を目指して09年度から定めているもの。10年度の案では、都市農村交流の拠点となる施設などの整備、農村整備・農業災害の防止、生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）関連の情報発信―などが挙げられた。東海農政局では今回の意見を基にさらに検討を行い、4月中には決定した内容を公表する。

また、懇談会では、30日に閣議決定した「食料・農業・農村基本計画」についても意見が交わされた。

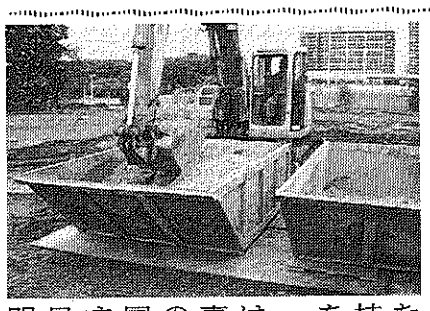
新しく策定された食料・農業・農村基本計画では、20年度までに食料自給率を供給熱量ベースで50%（08年度）まで上げることを目指して示している。

ガランダム工法の適用範囲拡大

狭い建設現場に適用

バケット打設を確立

ハザマ



ハザマ（小野俊雄社長）は3月29日、解体コンクリート塊を現場内で再利用できる「コンクリート再生材を用いたセメントベントナイト複合固化体工法（ガランダム工法）」で、狭い建設現場でも使えるよう、小回りが利く油圧ショベルで材料をかき混ぜて打設する施工方法を確立したと発表した。1月28日に建設技術審査証明（変更）を取得した。

ガランダム工法は、ビル建て替え工事で解体された建物のコンクリート塊を同じ現場内で再利用する技術で、08年1月に建設技術審査証明を取得済み。解体コンクリート塊を破砕してできるコンクリート再生材と、セメントベントナイトスラリを練り混ぜた複合流動体を、建物の基礎下やその周囲の埋め戻し部分、埋め戻しが必要な地下空洞などに打設し、地盤改良体を造成する。

セメントベントナイトスラリは、水とベントナイト、セメントの混合物。コンクリート再生材と混ぜるとコンクリートのような流動体となり、ポンプ車やホッパーなどで打設することができる。

一方、同工法はコンクリート再生材とセメントベントナイトスラリの攪拌（かくはん）をミキサーで行うため、ミキサーや材料投入機器を設るスペースが必要で狭い建設現場には不向きという課題があった。で、小回りが利くショベルのバケットをかき混ぜて、そのバケットで打設する方法を確立。

必要なスペースはのミキサー攪拌と半分程度の約150㍍に抑えた。

この工法を取りことで、資源再利か、コンクリートと打設分のコンクリート材料の搬入がなく大型車両の使用燃O2排出量、周辺の影響も低減できう。

今後、環境負荷法として広く提案く方針。